

指導分野・指導方針・指定課題

教 員 名	藤森 克彦 教授
指 導 分 野 (テーマ)	(1) 社会保障分野（貧困、孤立、年金、介護、労働など）に関する実態や政策提言に関するもの (2) 単身世帯を含む家族形態の変化や課題に関するもの (3) 海外の社会保障制度に関するもの
指 導 方 針	(1) 指導を希望する学生へのメッセージ ・日本や海外の社会保障分野（特に、貧困、孤立、年金、介護、労働など）や、家族形態の変化などで、具体的なテーマをもっている学生のエントリーを希望します。 ・論文執筆には、身を削る面があります。論文執筆をやり切ることのできる強い意志をもった学生の エントリーを希望します。 ・研究計画を立てる際には、問題意識の「独自性」と、期間内に論文を完成できる「実現可能性」が 大切です。スケジュール管理を含め、見通しをもった計画を立てることが重要です。 ・研究計画書を立てる段階から、問題意識、論文の構成(章・節)を十分に練ってください。この段階で、問題意識、各章の要旨、結論をある程度明確にして、それに沿った調査項目とスケジュールを検討することが、論文の成否を分ける一つの重要な分岐点になります。 (2) 指導日程 ・4 月 研究テーマ・問題意識などを明確化。論文の構成を考え、研究調査項目あげて、第一段階の研究計画書を作成し、提出。 ・5 月 先行研究を検索・精読 ・6 月 問題意識、構成、各章の要旨、結論（仮説）を再度検討 ・7 月 研究計画書に従って、調査を開始。論文を具体的に執筆開始 ・8 月 論文 40%程度の完成を目指して執筆継続 ・9 月 各章の執筆を進め、内容の検討および構成との整合性を検討 ・10 月 論文 60%程度の完成を目指して執筆継続 ・11 月 中間発表の準備と執筆継続（80%の完成を目標） ・12 月 論文の完成に向けた検討と執筆の継続 ・1 月 論文の最終チェックと提出 (3) 指導のコミュニケーション手段 ・メールまたは ZOOM による指導 ・必要に応じて、面接指導を実施。時期は要相談。 (4) その他 ・4 月の研究計画書の提出後に、研究テーマ等を変更する可能性があります。 ・原則として、1 月中旬までの論文完成を目指します。
指 定 課 題	・指導分野（テーマ）に関する先行研究の中から、自分の研究に最も役立つと考える文献を提示してください。また、その文献の内容と選んだ理由を書き、提出してください。 ・文献 ①書籍の場合...著者（編者）・書名・出版社・出版年 ②論文の場合...筆者・タイトル・雑誌名・発行年 ・字数...1200 字程度 ・用紙...A 4